

1) IDATEN の発足経緯とこれまでの活動

¹ 自治医科大学 臨床感染症センター

○矢野 晴美¹

日本感染症教育研究会 (Infectious Diseases Association for Teaching and Education in Nippon, IDATEN)は、2005 年に臨床感染症診療と教育の普及、確立、発展を理念として発足した。2002 年にメーリングリストによる意見交換を主体としたサイバーフォーラムである「日本の感染症科をつくる会」が立ち上がったが、この活動が元になっている。「日本の感染症科をつくる会」は、2002 年から 2005 年の間に、当初登録会員の知り合いの紹介などを通し、会員が増加し、2005 年に IDATEN として発足する時点で 500 名程度の登録会員がいた。IDATEN のホームページが開設されて以降は、さまざまな診療科、コメディカル、そのほか医療従事者、医療関係者らの登録が進み、現在、5,000 名を越える会員が登録するまでに発展してきた。メーリングリストを通じ、「日本の感染症科をつくる会」の当時から活発な症例相談、感染症関連の最新情報、セミナー開催情報などの共有などが行われてきた。メーリングリストによる学术交流に加え、2005 年からは、年に 4 回の招聘教育講演および症例カンファレンスが開催されてきた。また世話人のひとりが当初個人でおこなってきたセミナーを IDATEN の合宿セミナーとして発足し、夏と冬に定期的に IDATEN 主催の合宿セミナーを開催している。これは、自発的に幹事病院として名乗りを上げた医療施設において、若手スタッフのボランティアにより、70-80 名の参加者を全国から募り、世話人を中心とする講師陣と白熱する感染症セミナーを展開するというものである。IDATEN の活動では、専門医教育として、臓器・微生物によらない臓器横断的な感染症専門診療を世話人施設において提供すること、また教育面では診療科によらない基本知識の普及について、医学生、初期研修医、各科の後期研修医、一般医向けに行なっている。以上のように本講演では、IDATEN の発足の経緯、これまでの活動を振り返りながらご紹介し、今後の活動の可能性などについても触れたい。